まちづくりに関する調査特別委員会

地域整備進捗状況等

令和元年12月3日　嘉麻市新庁舎建設設置本部会議
（事務局：嘉麻市　地域活性推進課）

１　各地域の土地利活用・整備方針について

・土地利用・整備方針、利活用方針、整備スケジュール

※令和元年６月２０日　嘉麻市議会　全員協議会提出資料（一部修正）

２　山田支所、嘉穂支所建設基本計画について

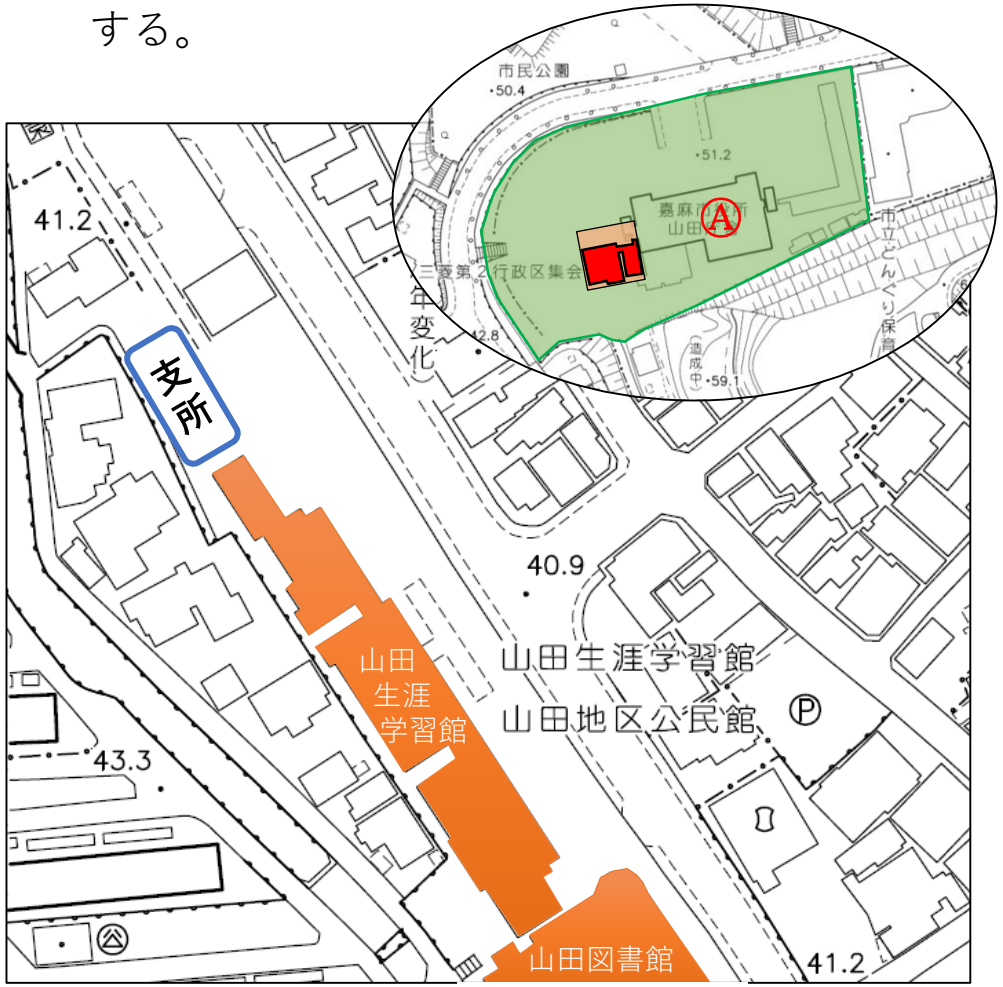
・山田支所建設基本計画

・嘉穂支所建設計本計画

各地域の土地利活用・整備方針について（令和元年６月現在）

１ 山田地域の土地利用・整備方針

① 地域振興やコミュニティ拠点としての支所は、山田生涯学習館敷地内に設置し、近隣施設等と一体化したコンパクトなまちづくりを行う。
② Ⓐ山田庁舎は、建物の老朽化や耐震性を考慮し除却する。
③ 子育てや居住面において優れた環境をいかして、庁舎跡地は、定住促進ができる敷地として活用する。

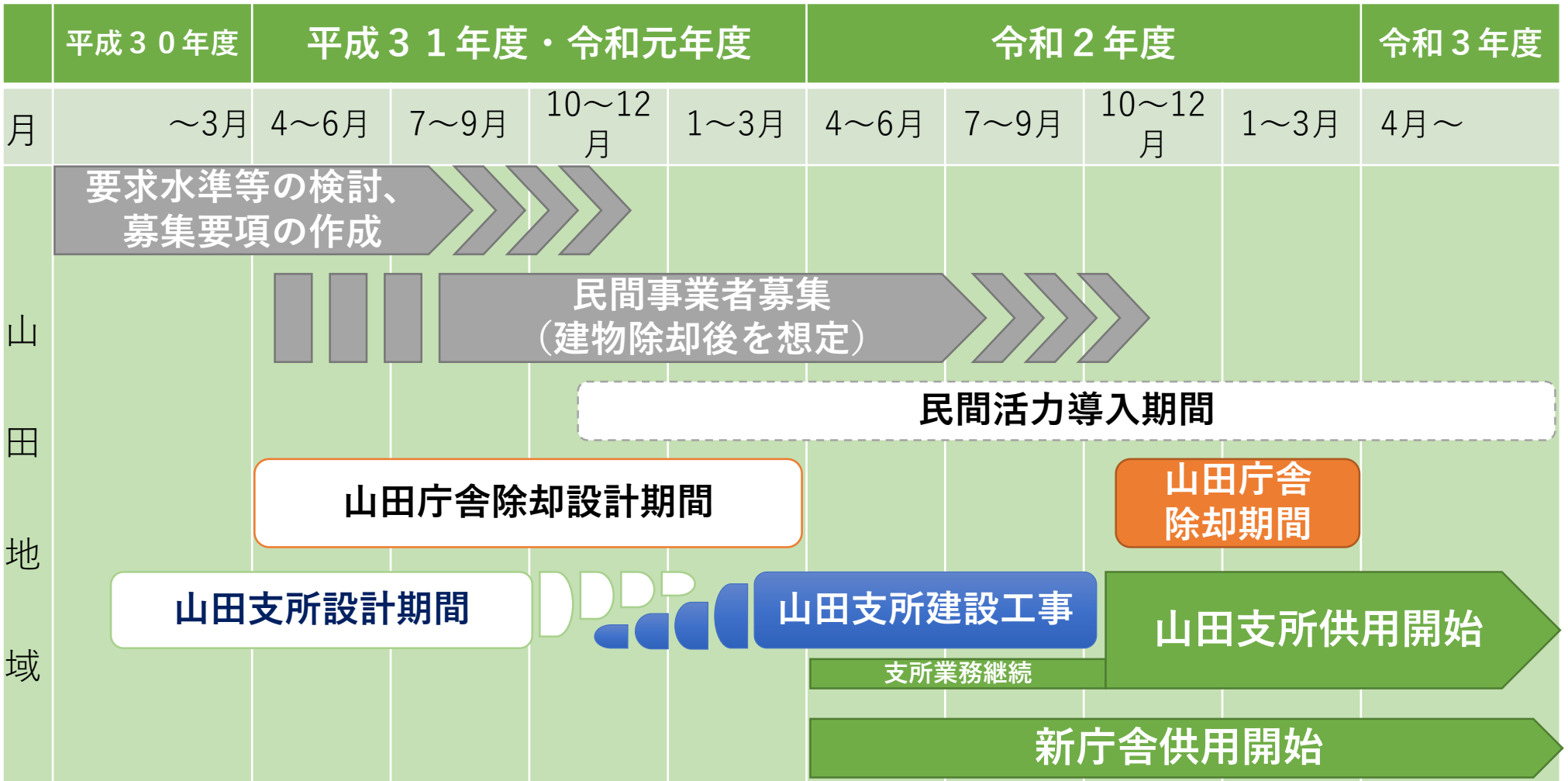


２ 山田地域の利活用方針

山田庁舎跡地の利活用方針は、「定住促進」を基本としている。まずは、民間事業者が定住促進を進めるための事業用地として活用することを前提とする。

各地域の土地利活用・整備方針について（令和元年６月現在）

３ 山田地域の整備スケジュール

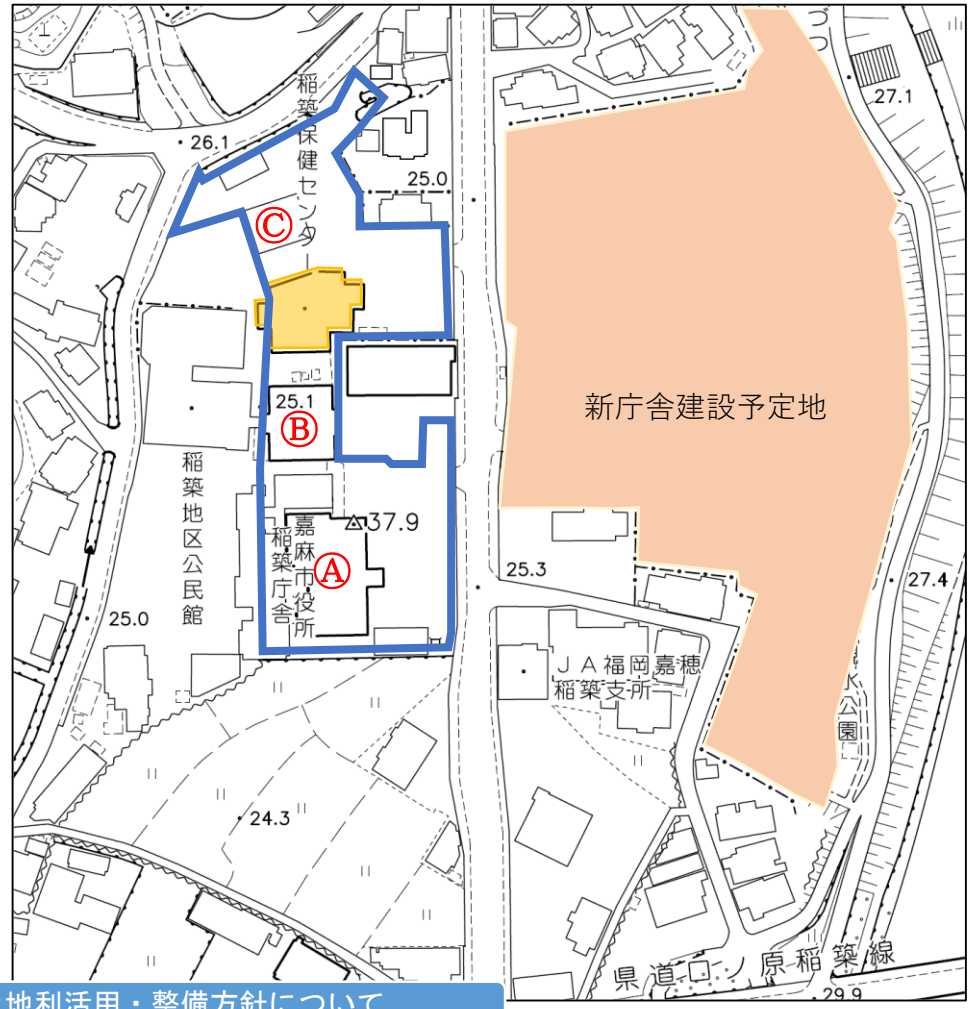


※民間活力の活用については平成２９年度策定の基本計画に基づき、平成３０年１１月から１２月にかけて庁舎等建物付きの跡地利活用の公募を行ったところですが、具体的な提案が出なかったことから、計画に従い、建物除却を前提とした民間活力を導入するための公募を行います。

各地域の土地利活用・整備方針について（令和元年６月現在）

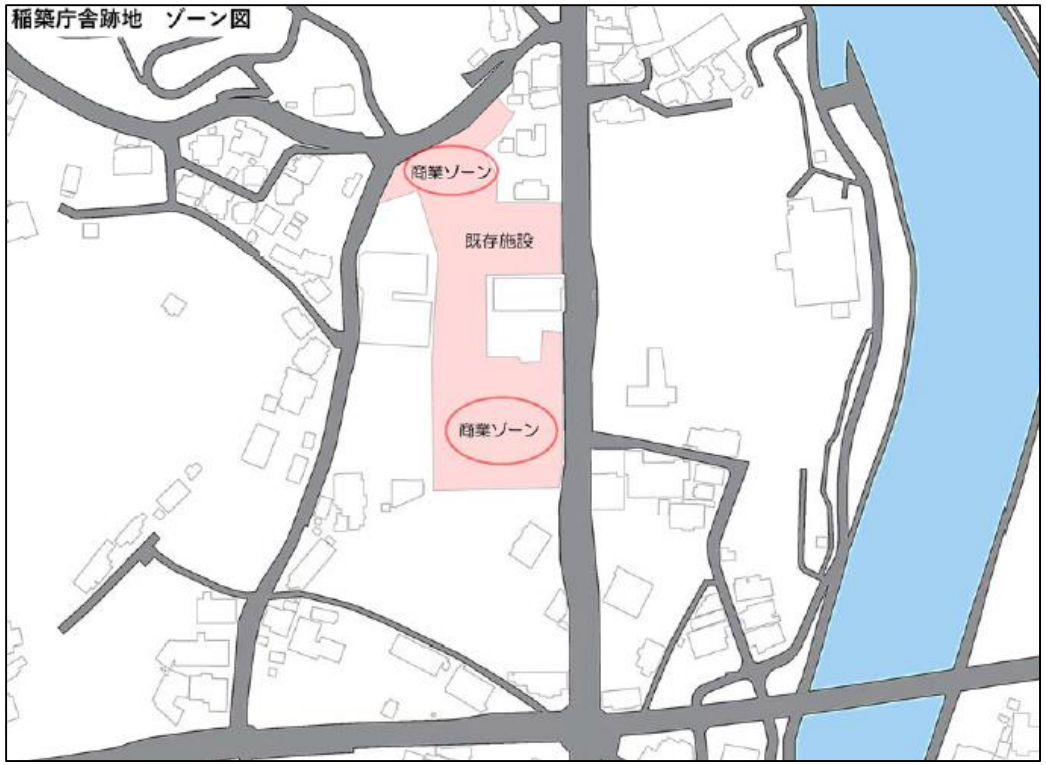
１ 稲築地域の土地利用・整備方針

① Ⓐ稲築庁舎、 Ⓑ稲築母子健康センター・稲築住民センター及びⒸ稲築庁舎別館４ （旧稲築町労働会館） を除却し、一体的な土地利用ができるように整理する。
② 行政機能拠点として地域振興を図るため、庁舎跡地の参画しやすい立地条件をいかし、民間譲渡区画として整備する。



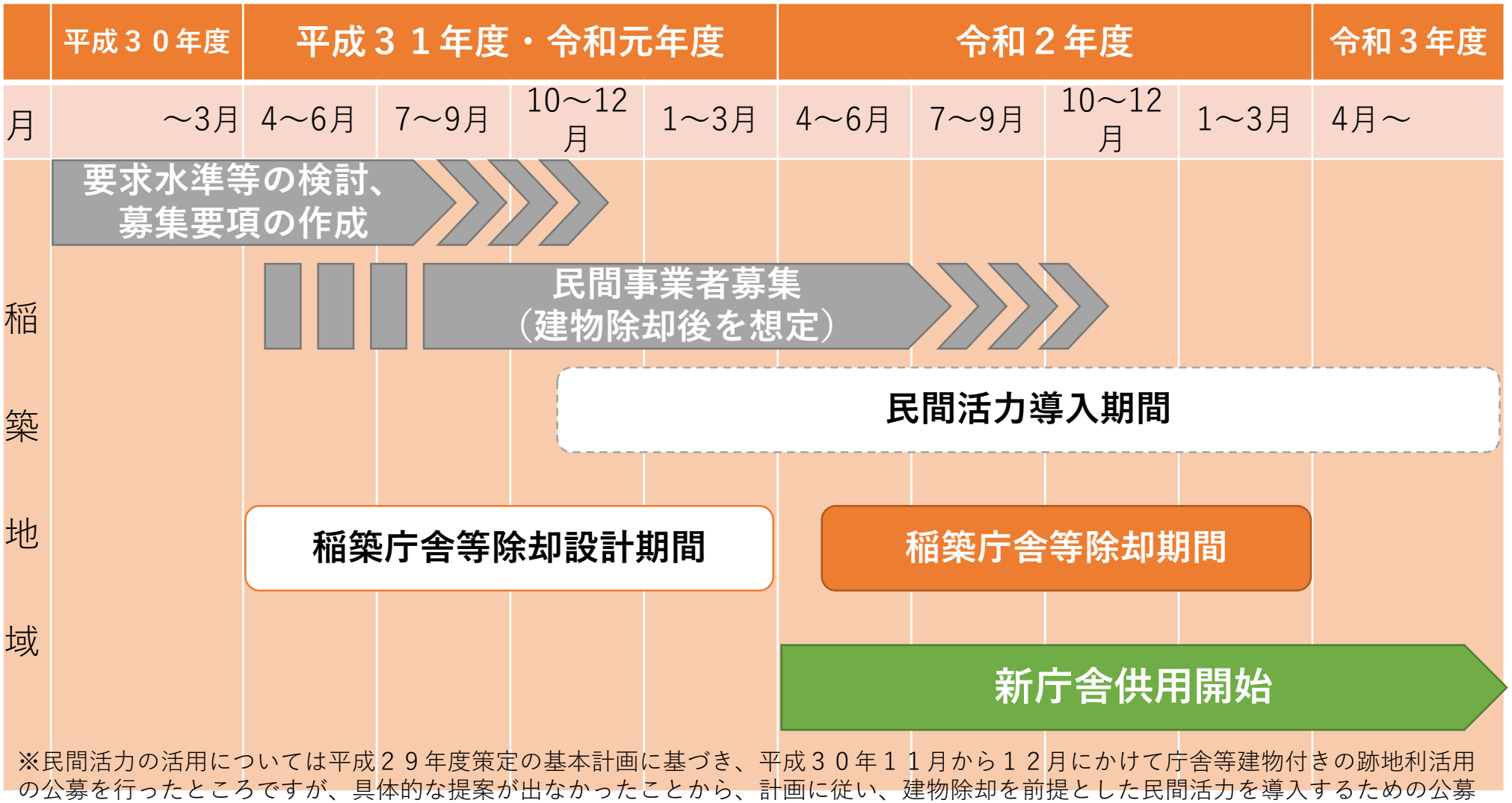
２ 稲築地域の利活用方針

稲築庁舎跡地の利活用方針は、民間事業者用地として活用することを前提とする。



各地域の土地利活用・整備方針について（令和元年６月現在）

３ 稲築地域の整備スケジュール

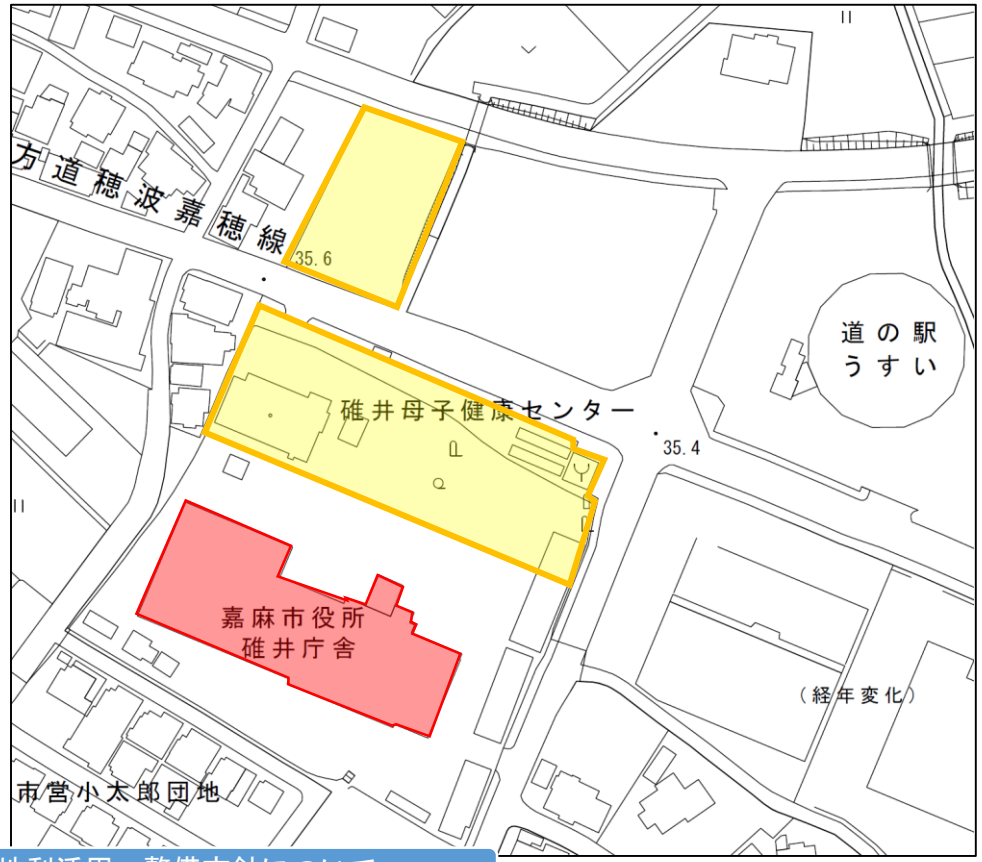


※民間活力の活用については平成２９年度策定の基本計画に基づき、平成３０年１１月から１２月にかけて庁舎等建物付きの跡地利活用の公募を行ったところですが、具体的な提案が出なかったことから、計画に従い、建物除却を前提とした民間活力を導入するための公募を行います。

各地域の土地利活用・整備方針について（令和元年11月現在）

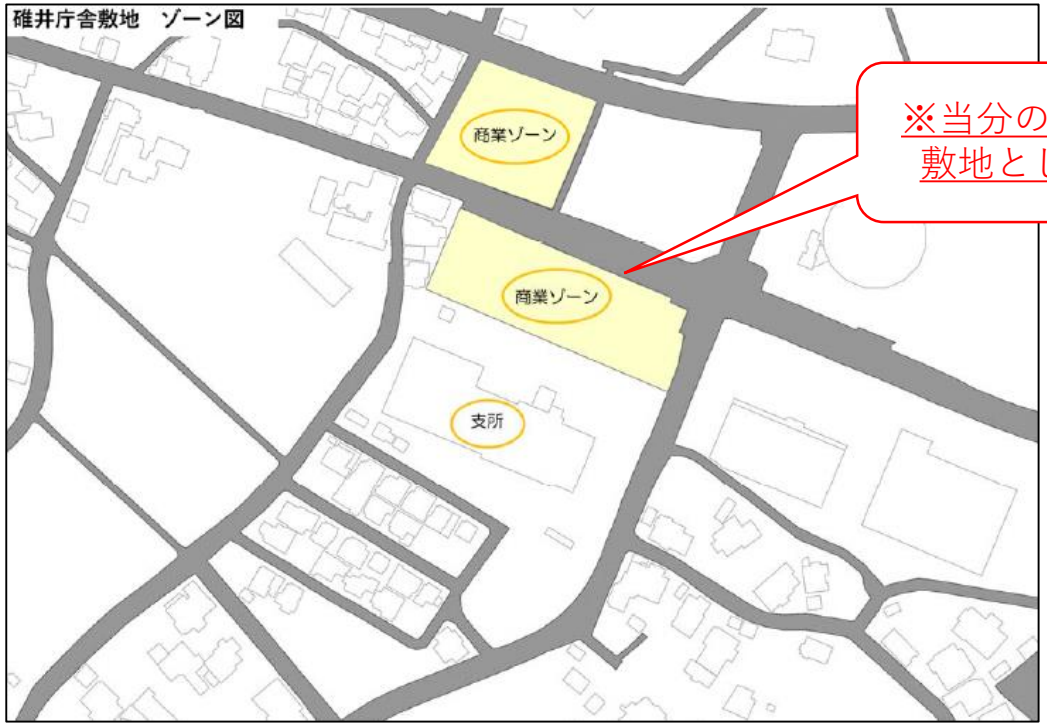
1 碓井地域の土地利用・整備方針

① 碓井庁舎を利活用し、支所及び教育委員会・子育て支援担当課・男女共同参画担当課（当面の間）を設置。（教育研究所・碓井地区公民館・男女共同参画取組支援拠点施設についても併設）
② 碓井庁舎、碓井琴平文化館や道の駅うすい等の既存施設を有効活用し、相互にいかしながら回遊性のある地域整備を行う。
③ 道の駅うすいや民間商業施設が集積していることから、商業振興拠点として整備を行い、地域の活性化を行う。



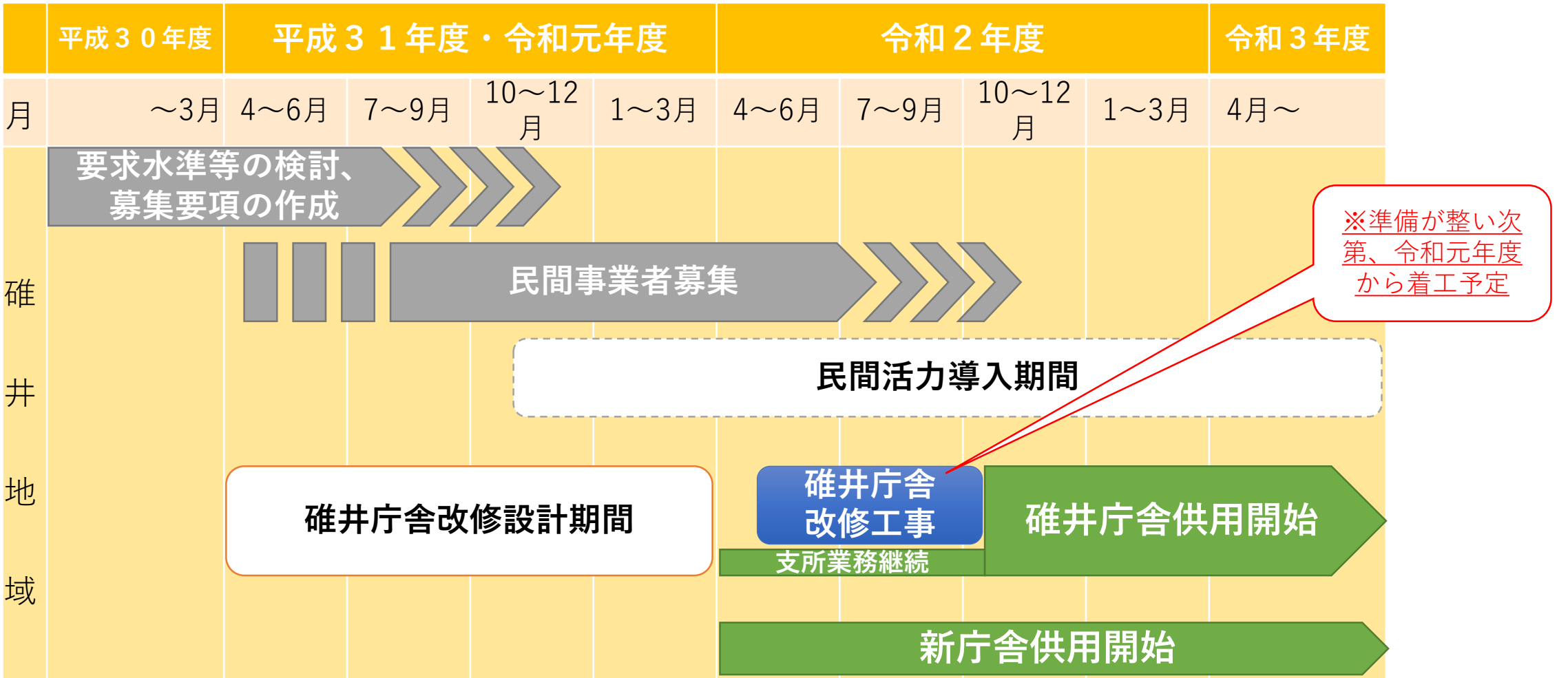
2 碓井地域の利活用方針

碓井庁舎跡地の利活用方針は、「商業振興」を基本としている。まずは、民間事業者が商業地域のための事業用地として活用することを前提とする。



各地域の土地利活用・整備方針について（令和元年11月現在）

３ 碓井地域の整備スケジュール



※民間活力の活用については平成２９年度策定の基本計画に基づき、平成３０年１１月から１２月にかけて庁舎等建物付きの跡地利活用の公募を行ったところですが、具体的な提案が出なかったことから、計画に従い、建物除却を前提とした民間活力を導入するための公募を行います。

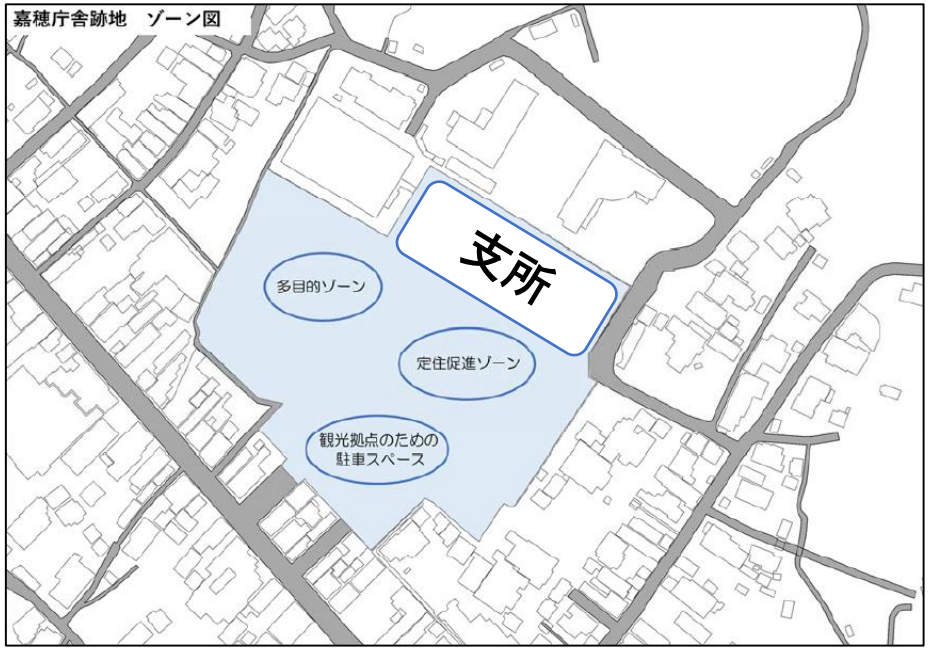
各地域の土地利活用・整備方針について（令和元年６月現在）

１ 嘉穂地域の土地利用・整備方針

① 交通の要衝で利便性が高く親しみのある嘉穂庁舎敷地周辺に支所を設置し、観光施設や歴史、文化の特性をいかした情報発信の観光促進拠点として整備する。
② 老朽化したⒶ嘉穂庁舎及びⒷ旧大隈小学校校舎を除却し、自然環境や歴史・文化の特性をいかした地域整備を行う。
③ 緑豊かな自然環境や住みよい環境特性をいかした定住促進拠点として整備する。

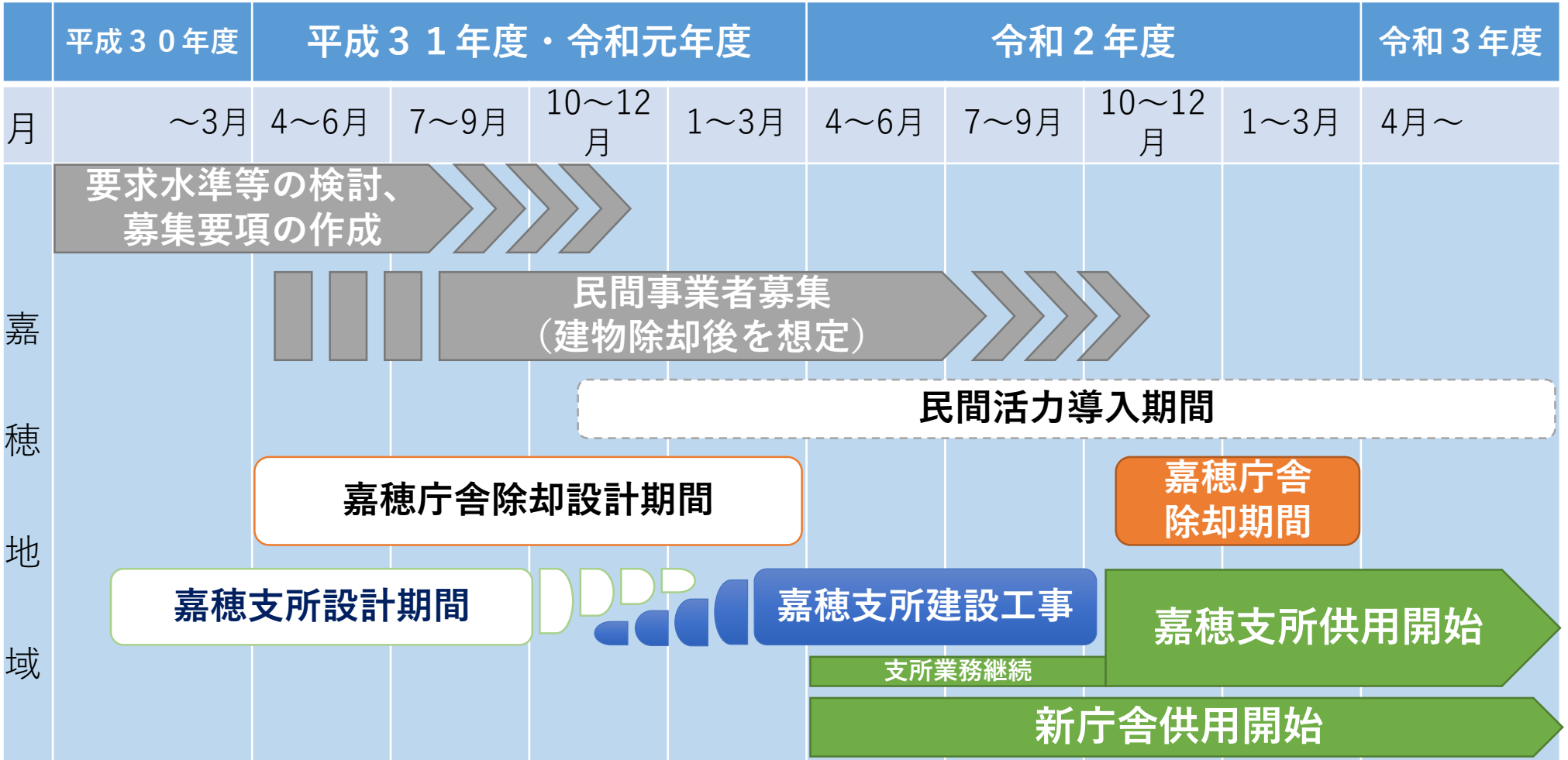
２ 嘉穂地域の利活用方針

嘉穂庁舎跡地の利活用方針は、「観光促進拠点」、「定住促進拠点」を基本としている。まずは民間事業者に事業用地として活用することを前提とする。



各地域の土地利活用・整備方針について（令和元年６月現在）

３ 嘉穂地域の整備スケジュール



※民間活力の活用については平成２９年度策定の基本計画に基づき、平成３０年１１月から１２月にかけて庁舎等建物付きの跡地利活用の公募を行ったところですが、具体的な提案が出なかったことから、計画に従い、建物除却を前提とした民間活力を導入するための公募を行います。

１　各地域の土地利活用・整備方針について

・土地利用・整備方針、利活用方針、整備スケジュール

※令和元年６月２０日　嘉麻市議会　全員協議会提出資料（一部修正）

２　山田支所、嘉穂支所建設基本計画について

・山田支所建設基本計画
・嘉穂支所建設計本計画

嘉麻市山田支所
建設基本計画書

令和元年１１月８日

地域活性推進課

嘉麻市山田支所建設　基本計画書

令和元年１１月

○基本方針

従来の庁舎があった地域が有機的に連携し、嘉麻市の主要な4つの地域として活性化され発展することが重要です。支所は今後のまちづくりの重要な拠点とし、市の全体ビジョンとして位置づけ、活性化を図る施設として設置します。

○設計コンセプト

・地域の交流スペースとなる支所
市民利用を第一に考え、明るく入りやすい地域のコミュニティ拠点となる支所とします。また、コミュニティの拠点として市民団体が利用できるスペースを設けます。

・市民が利用しやすい支所
市民がより親しみの持てる計画を行います。明るく来庁しやすい機能的な建物、コンパクトでわかりやすい平面計画、来庁者の安全性への配慮やユニバーサルデザインなどを取り入れた利用しやすい支所とします。

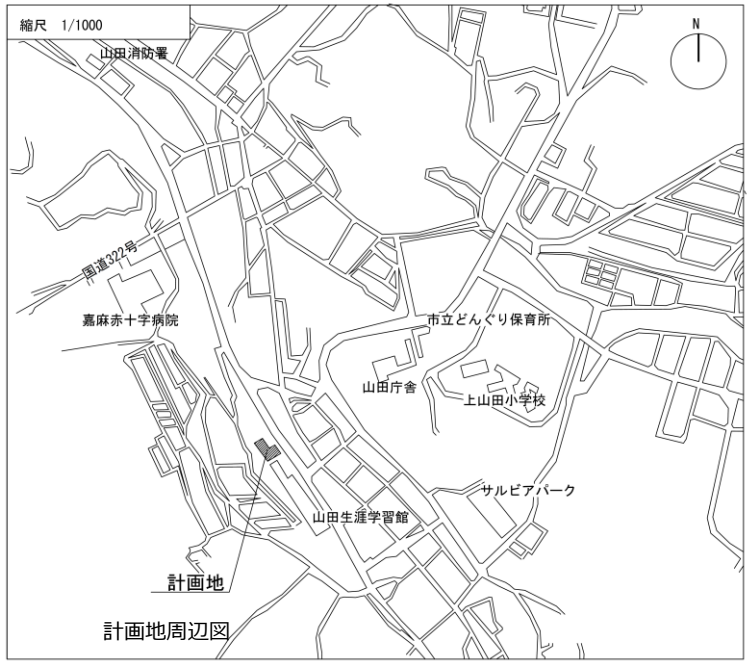
・安心安全な支所
新支所は、地震、台風、洪水等の災害時にも機能（防災機能拠点）が維持できる構造を十分に備えています。また、防災倉庫等の機能を有し、災害時に対応できるフレキシブルなプランニングを行います。

・コンパクトで相互連携ができる支所
近隣の教育機関、金融機関、医療福祉機関や飲食店などの日常生活に必要な機能が集約されており、そこに支所機能を加えることで、よりコンパクトで相互の連携が行えるまちづくりを目指します。また、山田生涯学習館敷地内に設置することで相互に補完できる支所とし、市民の利便性が向上し多世代の人が集まる拠点とします。

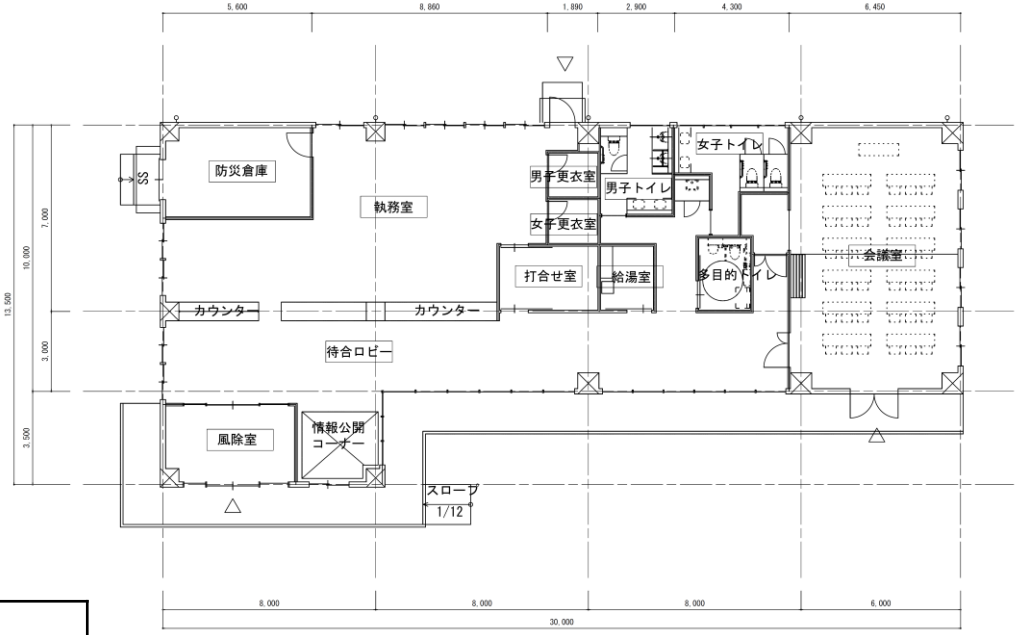
○構造設計基本方針

災害時の安全性を十分に確保すると共に、防災機能拠点として十分な機能（Ⅰ類）を確保し、次の特性に配慮しRC造とします。
①機能性　→　建物の機能を十分に発揮する構造とします。
②安全性　→　大地震時における建物の安全性を確保します。
③耐久性　→　大地震により構造体に与える影響を抑え、地震後に十分な機能確保を図ります。
④経済性　→　コンクリートや鉄筋など建設にかかるコストに配慮した構造とします。

外観イメージ



計画地周辺図



平面計画

面積	
防災倉庫	19.88　㎡
執務室	78.01　㎡
男子更衣室	3.31　㎡
女子更衣室	3.31　㎡
打合せ室	9.50　㎡
男子トイレ	9.48　㎡
女子トイレ	11.92　㎡
SK	1.40　㎡
給湯室	5.23　㎡
多目的トイレ	5.74　㎡
会議室	68.46　㎡
待合ロビー	96.81　㎡
風除室	15.00　㎡
DS	0.83　㎡
合　　計	328.88　㎡

○諸室構成

　支所に必要な機能や諸室規模を検討し、コンパクトで機能的な支所とします。職員15人が勤務できるスペース、期日前投票や市民団体等が利用できる会議室、防災資機材を置くことができる防災スペースを有しています。

パース図（イメージ）

3

嘉麻市嘉穂支所
建設基本計画書

令和元年１１月８日

地域活性推進課

嘉麻市嘉穂支所建設　基本計画書

令和元年１１月

○基本方針

従来の庁舎があった地域が有機的に連携し、嘉麻市の主要な4つの地域として活性化され発展することが重要です。支所は今後のまちづくりの重要な拠点とし、市の全体ビジョンとして位置づけ、活性化を図る施設として設置します。

○設計コンセプト

・地域の交流スペースとなる支所
市民利用を第一に考え、明るく入りやすい地域のコミュニティ拠点となる支所とします。また、コミュニティの拠点として市民団体が利用できるスペースを設けます。

・市民が利用しやすい支所
市民がより親しみの持てる計画を行います。明るく来庁しやすい機能的な建物、コンパクトでわかりやすい平面計画、来庁者の安全性への配慮やユニバーサルデザインなどを取り入れた利用しやすい支所とします。

・安心安全な支所
新支所は、地震、台風、洪水等の災害時にも機能（防災機能拠点）が維持できる構造を十分に備えています。また、防災倉庫等の機能を有し、災害時に対応できるフレキシブルなプランニングを行います。

・まちづくりを支える拠点となる支所
交通の要衝で地域住民の利便性が高く、公共施設が集まっている立地を活かし、まちづくりを支え情報発信拠点となる支所の計画を行います。また、嘉穂地域の歴史文化や観光資源と調和したデザインを取り入れ、景観に配慮した支所とします。

○構造設計基本方針

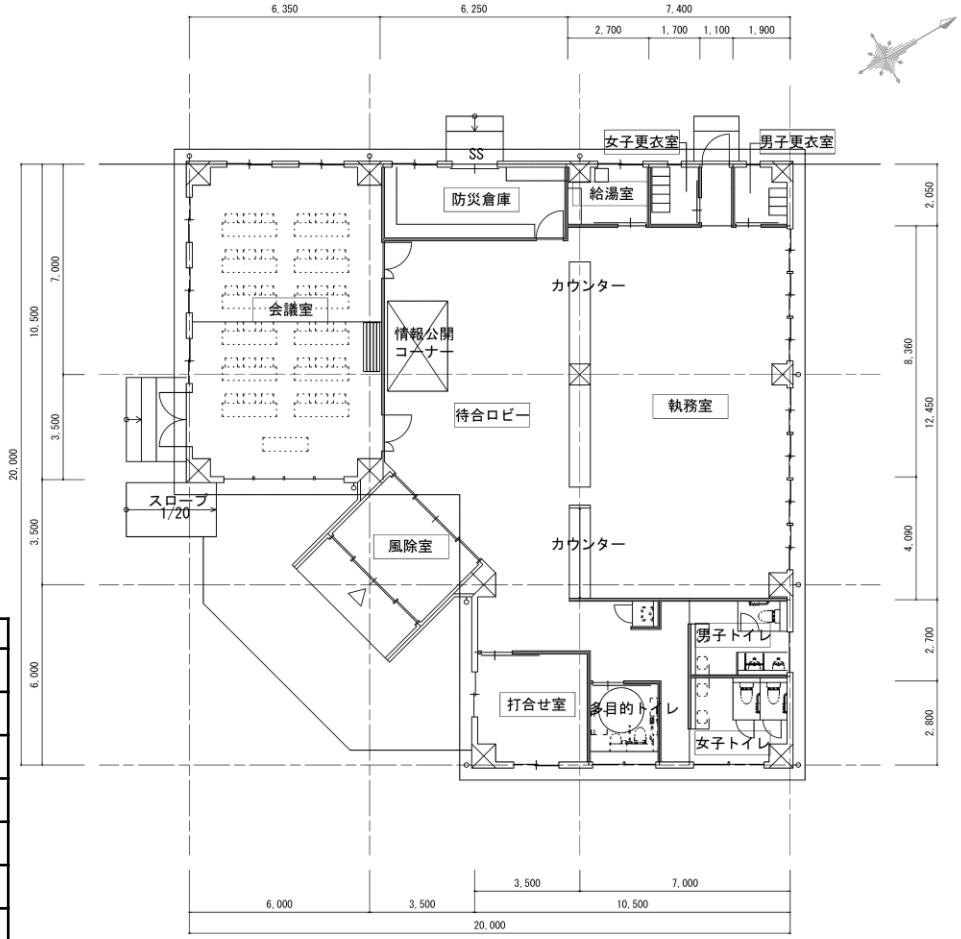
災害時の安全性を十分に確保すると共に、防災機能拠点として十分な機能（Ⅰ類）を確保し、次の特性に配慮しRC造とします。
①機能性　→　建物の機能を十分に発揮する構造とします。
②安全性　→　大地震時における建物の安全性を確保します。
③耐久性　→　大地震により構造体に与える影響を抑え、地震後に十分な機能確保を図ります。
④経済性　→　コンクリートや鉄筋など建設にかかるコストに配慮した構造とします。

外観イメージ

計画地周辺図

平面計画

面積	
会議室	67.72　㎡
防災倉庫	15.25　㎡
給湯室	5.63　㎡
女子更衣室	3.48　㎡
男子更衣室	3.89　㎡
執務室	89.40　㎡
男子トイレ	8.54　㎡
女子トイレ	9.88　㎡
SK	0.78　㎡
多目的トイレ	6.46　㎡
打合せ室	14.25　㎡
風除室	19.71　㎡
待合ロビー	87.57　㎡
合　　計	332.56　㎡



○諸室構成

　支所に必要な機能や諸室規模を検討し、コンパクトで機能的な支所とします。職員15人が勤務できるスペース、期日前投票や市民団体等が利用できる会議室、防災資機材を置くことができる防災スペースを有しています。

パース図（イメージ）